中小企業論　　反田 和成

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

本授業では、中小企業の発展性と課題・問題点のほか、中小企業の競争戦略、中小企業の経営戦略、ベンチャー企業、中小企業の海外進出における国際経営戦略といった側面から中小企業を体系的に学びます。

また、中小企業について経済や産業全体の視点から企業経営の視点まで幅広い観点から理解を深め、学生が将来中小企業を経営する立場、支援する立場、働く立場になったときに役立つ専門的知識を身に付けることを目指します。近い将来、社会人としてビジネスの現場の最前線で活躍できるように、地域中小企業に対する調査研究の実務経験に基づき、多くの最新事例を活用した理解しやすい授業スタイルで進行します。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション(講義の概要、目的、スケジュール、アンケート)
第 2 回	中小企業が果たす社会的役割と位置づけ
第 3 回	中小企業の差別化戦略、プレゼンテーションの説明
第 4 回	中小企業のマーケティング戦略（ブランド、製品開発)
第 5 回	中小企業の M&A 戦略、戦略的提携、グループディスカッションとまとめ①
第 6 回	中小企業の人的資源と人材育成
第 7 回	中小企業の資金調達と研究開発
第 8 回	地域中小企業の事例、グループディスカッションとまとめ②
第 9 回	地域中小企業の事例
第 10 回	中小企業のグローバル化
第 11 回	学生のプレゼンテーション ①
第 12 回	学生のプレゼンテーション ②
第 13 回	ベンチャー企業の成長と課題、グループディスカッションとまとめ③
第 14 回	ベンチャー企業の成長と課題
第 15 回	中小企業政策とは何か、中小企業に期待される自己改革と授業全体のまとめ
第 16 回	期末試験

到達目標

1】中小企業に関する基本的な知識を身に付けることができます。
2】実社会における中小企業の特徴と課題について、基本的な仕組みを理解ができるようになります。
また、差別化戦略、マーケティング戦略、地域中小企業、ベンチャー企業などの授業は、実務経験と関連した事例を取り上げ、実務に直結した内容を修得することを目指します。
3】中小企業に関する基本的な概念や用語を理解することによって、新聞・雑誌などの現代企業関連の記事を無理なく読みこなせることを到達目標とします。

履修上の注意

1】ケーススタディにおけるグループディスカションでは、討議した結果をレポートにまとめて提出してもらいます。
2】授業中に提示するテーマに添ってチームごとにプレゼンテーションを行ってもらいます。
3】質問や発言をした学生には「発言カード」を配布して加点（1 点~2 点）します。

予習・復習

1】新聞・雑誌・テレビ・WEB などの中小企業の活動に関するニュースに目を通してください。
2】学習した内容を関心のある中小企業にあてはめるなど、実際に確認してください。

評価方法

1】期末試験の成績（50%)
2】プレゼンテーション（30%)
3】講義への貢献度、グループディスカション、レポート作成（20%)

テキスト

・教科書は指定せず、適宜、授業資料、新聞・雑誌のレジュメなどを配布します。